

株主の皆様へ



代表取締役社長

黒田 浩史

■ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。当社ホームページに決算の内容や会社現況を説明した動画を昨年引き続き掲載いたします。本通信と合わせてそちらをご覧ください、当社の現状につきご理解を深めて頂ければ幸いです。ここに当社第82期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

2026年6月

■当期の概要

当連結会計年度における日本経済および世界経済は、地政学リスクや通商環境の変化に翻弄されつつも内需や新技術への投資に下支えされた一方で、継続的な物価上昇や中東情勢による原材料・エネルギー価格の高騰など先行き不透明な状況で推移しました。

こうした状況下、当社グループの受注高は、世界的EVシフトの減速の影響を受けた一方で、金型システムにおける新プロジェクト関連設備に加え、昨年末以来駆動システム事業の受注が急回復したことにより20,749百万円（前期比2,510百万円、13.8%増）となりました。売上高については、中国のレアアース（希土類）磁石の輸出規制によりモーターコアの生産への影響があったものの、金型システムにおける新プロジェクト関連設備および工作機械部門の売上が増加したこと

等により19,501百万円（前期比2,217百万円、12.8%増）となりました。

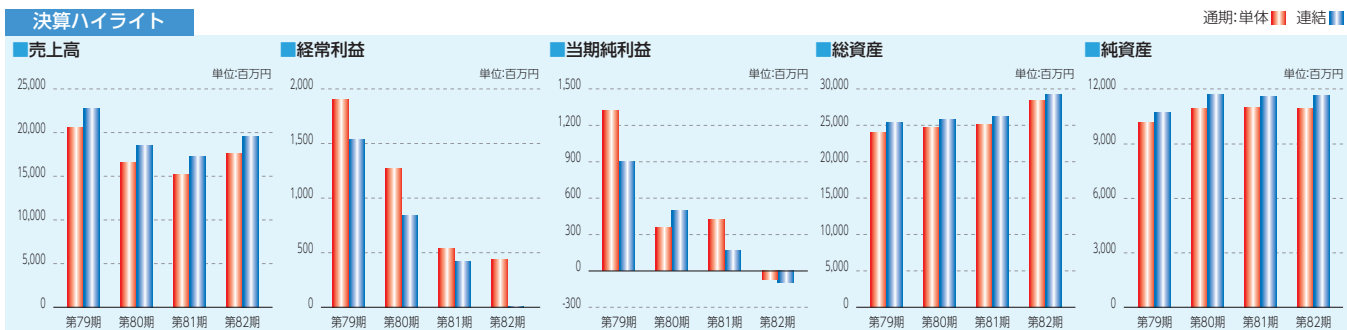
利益面に関しては、駆動システムおよび金型システムセグメント内の品種構成差により利益率が低下したことや減価償却費が増大したことに加え、ドイツ会社の赤字が拡大したこと等が影響し、営業利益は32百万円（前期比278百万円、89.5%減）、経常利益は11百万円（前期比408百万円、97.3%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、投資有価証券売却益286百万円を特別利益として計上したものの、業績低迷が続くドイツ会社に関連する固定資産の減損損失207百万円および構造改革費用240百万円を特別損失に計上したこと等により96百万円の損失（前期は親会社株主に帰属する当期純利益172百万円）となりました。

期末配当については1株当たり10円とさせていただきます。創業百周年記念配当として先に実施した10円の間配当と合わせて年間20円の配当となります。

■来期の見通し

駆動システム事業の受注が昨年末以来急回復していることに加え、金型システム事業において国内でモーターコアを量産する新規大型プロジェクトが下期以降から業績に寄与すること等を踏まえ、次期連結業績は、売上高25,800百万円、営業利益770百万円、経常利益550百万円、親会社株主に帰属する当期純利益330百万円を見込んでおります。

次期の配当につきましては、上記業績見通しを勘案し、1株当たり20円（中間配当5円、期末配当15円）を予定しております。株主の皆様には何卒ご理解と変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。



## ■ 駆動システム

売上高 **6,480**百万円

当セグメントでは、半導体・液晶関連装置市場向け商品等の受注が昨年末以来急回復したことにより受注高は7,765百万円（前期比1,425百万円、22.5%増）となりました。売上高については黒田精工単体が増収となったものの、欧米子会社の減収の影響から、6,480百万円（前期比108百万円、1.7%増）に留まりました。

損益面では、黒田精工単体は増収および経費の削減で増益となったものの、欧米子会社の損益悪化により、営業損失186百万円（前期は営業損失125百万円）となりました。

## ■ 金型システム

売上高 **9,139**百万円

当セグメントでは、世界的なEVシフト減速の影響を受け、車載用モーター金型の受注が減少したものの、現在進行している新プロジェクト関連設備等の受注が寄与し受注高は8,855百万円（前期比396百万円、4.7%増）となりました。売上高は、車載用モーターコア金型および家電用モーターコアが減少したことに加え、中国のレアアース（希土類）磁石の輸出規制により当該部品を使用する車載用モーターコアが減少した一方で、新プロジェクト関連設備等の関連会社向け売上が大きく寄与したこと等により、9,139百万円（前期比1,572百万円、20.8%増）となりました。

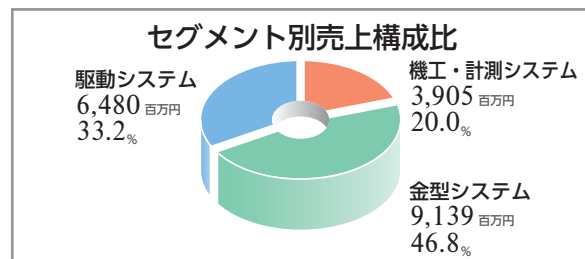
損益面においては、相対的に利益率の高い商品の売上が減少した一方で、利益率の低い関連会社向け設備が増加したことに加え、設備償却費が増加したこと等から、営業利益は49百万円（前期比530百万円、91.4%減）となりました。

## ■ 機工・計測システム

売上高 **3,905**百万円

当セグメントでは、受注高は上期における精機商品の大口受注に加え要素機器の受注増加等があり、4,152百万円（前期比695百万円、20.1%増）となりました。売上高については、工作機械を中心にシステム部門の売上が増加したこと等により3,905百万円（前期比543百万円、16.2%増）となりました。

損益面では、増収効果とシステム部門の利益率の改善、国内子会社の増益等により営業利益は176百万円（前期は営業損失103百万円）となりました。



各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

## ■ 長野工場の生産体制増強完了

金型システムの製品を製造している長野工場は生産体制の増強を図ってきましたが、第8工場、第9工場の建設に続き、倉庫棟であった第4工場の金型の組立工場としての建て替えが2月に完了しました。一連の施策により、長野工場は世界最先端の車載用モーターコアとその金型の生産ラインに生まれ変わり、生産能力も大幅に拡充されました。今後はこの能力を最大限に活用し、金型事業の成長発展に努めていきます。



長野工場新第4工場

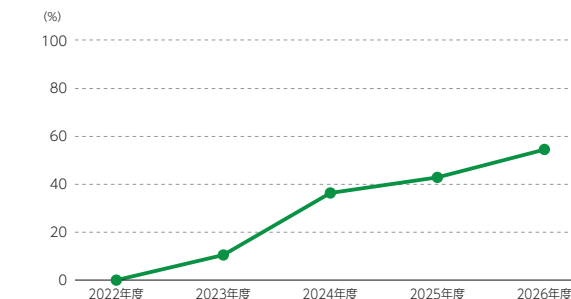
## ■ 紅忠黒田ラミネーション株式会社の現状

2023年に設立した当社の持分法適用関連会社である紅忠黒田ラミネーション株式会社（BKL）では、今年後半から開始予定のHEV用モーターコア量産プロジェクトの当社向け受託生産に向けた体制整備を進めています。同社では大型高速プレス機のほか、当社特許技術を使用した型内接着積層金型システムであるGlue FASTEC® やMAGPREX® システムを導入し、モーターコア打ち抜きから回転子（ローター）のマグネット樹脂固着までの一貫生産を可能にしています。上述の長野工場の体制整備に加えて今回のBKLの体制整備により、当社の国内でのモーターコア量産体制は飛躍的に拡充されることとなります。

## ■ 人材育成・社内環境整備

当社は性別や国籍、採用ルートによらず多様な才能や価値観を持つ人材を積極的に獲得し登用することに努めています。また、働き甲斐と働きやすさを両立し、自身の能力を高めながら長く活躍できる魅力ある会社として評価されるよう、新しいスキルの習得を奨励するための充実した資格手当制度や奨学金返還支援制度の導入などの取り組みを進めています。近年当社は人材多様化の観点から女性の採用に積極的に取り組んでおり、新入社員に占める女性の比率が顕著に増加しています。このような中、女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定や次世代育成支援対策基本法に基づく「プラチナくるみん」認定の取得などを見据え、さらなる社内環境整備を図っていきます。

## ■ 新入社員における女性比率の推移

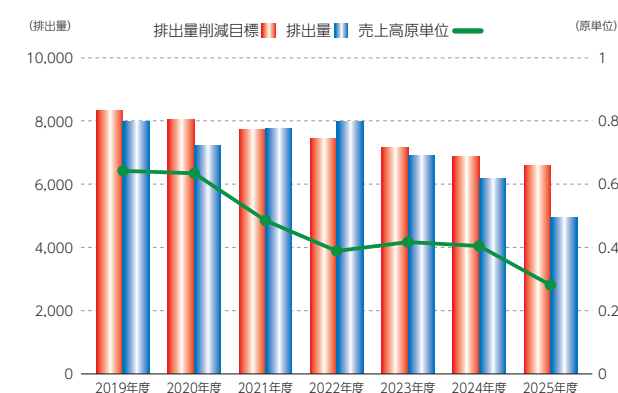


## ■ 各種展示会への出展

1月に開催された第17回EV・HV・FCV技術展に出展し、次世代の電動車や空飛ぶモビリティ等に向けた提案として、パーメンジュールやアモルファスといった高性能磁性材を使用したモーターコアを紹介しました。この他にも2025年度は国内外の展示会9件に出展し、新たなチャンネルの開拓につなげました。直近では7月に東京ビッグサイトで開催される第31回機械要素技術展に出展予定です。

■ 順調に進むCO<sub>2</sub>排出削減

当社は、カーボンニュートラルに向けた取り組みを従来から積極的に続けており、目標を上回るペースでCO<sub>2</sub>排出量が順調に減少しています。この度マレーシアの子会社であるクロダプレジジョンインダストリーズ（M）の工場においても太陽光パネルが設置され、8月からの稼働の予定です。2050年度のカーボンニュートラル達成に向けたロードマップに基づき、グループ全体でエネルギー転換および再生可能エネルギー導入を今後も継続的に推進していきます。

■ 当社のCO<sub>2</sub>排出量削減の推移

太陽光パネルを設置したクロダプレジジョンインダストリーズ（M）

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2025年3月31日現在	2026年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流 動 資 産	13,054	14,523
固 定 資 産	13,105	14,679
有 形 固 定 資 産	9,335	10,551
無 形 固 定 資 産	167	177
投 資 そ の 他 の 資 産	3,602	3,951
資 産 合 計	26,159	29,203
<b>負債の部</b>		
流 動 負 債	8,469	9,535
固 定 負 債	6,107	8,041
負 債 合 計	14,577	17,576
<b>純資産の部</b>		
株 主 資 本	8,787	8,413
資 本 金	1,941	1,952
資 本 剰 余 金	1,556	1,578
利 益 剰 余 金	5,297	5,029
自 己 株 式	△9	△147
その他の包括利益累計額	2,598	3,045
その他有価証券評価差額金	1,090	1,385
土 地 再 評 価 差 額 金	803	803
為 替 換 算 調 整 勘 定	648	712
退職給付に係る調整累計額	56	143
非支配株主持分	196	167
純 資 産 合 計	11,582	11,626
負 債 ・ 純 資 産 合 計	26,159	29,203

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2024年4月1日～ 2025年3月31日	2025年4月1日～ 2026年3月31日
売 上 高	17,284	19,501
売 上 原 価	13,187	15,610
売 上 総 利 益	4,097	3,891
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,785	3,858
営 業 利 益	311	32
営 業 外 収 益	445	311
営 業 外 費 用	337	333
経 常 利 益	419	11
特 別 利 益	106	562
特 別 損 失	123	716
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	402	△143
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	245	127
法 人 税 等 調 整 額	△3	△178
当 期 純 利 益	159	△92
非支配株主に帰属する当期純利益	△12	3
親会社株主に帰属する当期純利益	172	△96

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2024年4月1日～ 2025年3月31日	2025年4月1日～ 2026年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,226	△614
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,643	△1,228
財務活動によるキャッシュ・フロー	468	1,874
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	39
現金及び現金同等物の増減額	57	70
現金及び現金同等物の期首残高	3,233	3,290
現金及び現金同等物の期末残高	3,290	3,360

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2025年3月31日現在	2026年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	11,368	13,012
固定資産	13,764	15,418
有形固定資産	8,420	9,880
無形固定資産	158	171
投資その他の資産	5,185	5,366
資産合計	25,132	28,430
<b>負債の部</b>		
流動負債	8,232	9,104
固定負債	5,914	8,406
負債合計	14,147	17,510
<b>純資産の部</b>		
株主資本	9,091	8,729
資本金	1,941	1,952
資本剰余金	1,517	1,528
利益剰余金	5,640	5,396
自己株式	△9	△147
評価・換算差額等	1,893	2,189
その他有価証券評価差額金	1,090	1,385
土地再評価差額金	803	803
純資産合計	10,985	10,919
負債・純資産合計	25,132	28,430

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2024年4月1日～ 2025年3月31日	2025年4月1日～ 2026年3月31日
売上高	15,256	17,630
売上原価	12,052	14,475
売上総利益	3,203	3,154
販売費及び一般管理費	2,777	2,896
営業利益	425	257
営業外収益	414	460
営業外費用	299	277
経常利益	539	441
特別利益	172	562
特別損失	108	1,169
税引前当期純利益	604	△165
法人税、住民税及び事業税	217	112
法人税等調整額	△34	△205
当期純利益	421	△72

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 会社の概要

(2026年3月31日現在)

商号	黒田精工株式会社
本店	神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
創業	1925年(大正14年)
資本金	19億52百万円
従業員数	436名

## 連結対象会社の状況 (2026年3月31日現在)

連結子会社	持分法適用関連会社
クログレシジョンインダストリーズ(M) (マレーシア)	日本金型産業株式会社
黒田精工(浙江)有限公司(中国)	紅忠黒田ラミネーション株式会社
韓国黒田精工株式会社	
KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD. (英国)	
Jenaer Gewindetechnik GmbH (ドイツ)	
KURODA JENA TEC, INC. (米国)	
株式会社ゲーゼン	

## 当社グループの主要な事業 (2026年3月31日現在)

セグメント	主要製品
駆動システム	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ、ガイド、ギア
金型システム	積層精密プレス型、精密金属プレス商品、モーターコア
機工・計測システム	保持工具、ゲーゼ、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密密閉形状測定装置、パルスエンコーダ

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
定時株主総会	毎年6月下旬	三井住友信託銀行株式会社	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
基準日		郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
定時株主総会	毎年3月31日	三井住友信託銀行株式会社	証券代行部
配当金	期末配当：毎年3月31日 (中間配当を行う場合：毎年9月30日)	(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載します。 <a href="https://kurodaprecision.com/jp/">https://kurodaprecision.com/jp/</a> ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。	受付時間	9:00～17:00 (土日休日を除く)

## 株式に関する手続きについて

○証券会社等の口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
郵送物等の発送と返戻に関するご照会	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
支払期間経過後の配当金に関するご照会	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL. 0120-782-031 (フリーダイヤル)
株式事務に関する一般的なお問合せ	受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開通されている証券会社等にお問合せください。

○特別口座に登録された株主様の株式に関する各種お手続きに関しましては、三井住友信託銀行株式会社がお口座管理機関となっておりますので、下記へお問合せください。

お問合せ先 **0120-782-031** (フリーダイヤル)  
受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)

[手続き書類のご請求方法]

・インターネットによるダウンロード <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency>

## 黒田精工株式会社

本社 / 〒212-8560 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16  
TEL / 044-555-3800 (代表) FAX / 044-555-3524  
<https://kurodaprecision.com/jp/>

